

ラップポン コメント

高齢者生活福祉研究所 理学療法士 加島 守

ポータブルトイレを始めて使用するのはいつごろだと思いますか？

実は子供の時に使用するおまる(御虎子)ではないでしょうか。昔は汲み取り式便器だったので、誤って便槽に落ちてしまわないようにという目的で使用されていましたが、現在は洋式便器の大きさが合わないので使用するようになりました。

すなわちおまるは子供の体格に合わせたポータブルトイレですので、ポータブルトイレの目的は、寝室内で使用するだけでなく、使用する人の身体に合わせる事が前提になるでしょう。

また、「ポータブルトイレを使用して排泄を自立する」という言い方が多くされますと思いますが、ポータブルトイレの役割として一番に挙げられるのは寝室からトイレまでの移動距離を短くすることです。しかし、ポータブルトイレを自立して使用するためには①蓋の開閉②立ち上がり③衣服の上げ下ろし④着座⑤排泄⑥汚物の処理(バケツの洗浄)などが自立しないと排泄が自立しません。なかでも汚物の処理はバケツを持ってトイレまで行き、汚物を捨て、バケツを洗う(外の水道で洗いますか？お風呂場で洗いますか？バケツを洗ったお風呂場に入りたいと思いますか？)が必要です。そもそもバケツを持って移動することができる方がポータブルトイレを使用されるのでしょうか？

この汚物の処理がごみを捨てるようにできれば排泄物の処理まで含めた自立ができるようになります。もちろん匂い等の対策は来客ばかりでなく、介護される方々への負担を軽減することができ、衛生的です。

排泄の自立と介護負担軽減となる「ラップポン」に期待します。